

0 - base

固定概念や社会的価値観から解放された0からの再出発

【通過儀礼としての引きこもり】

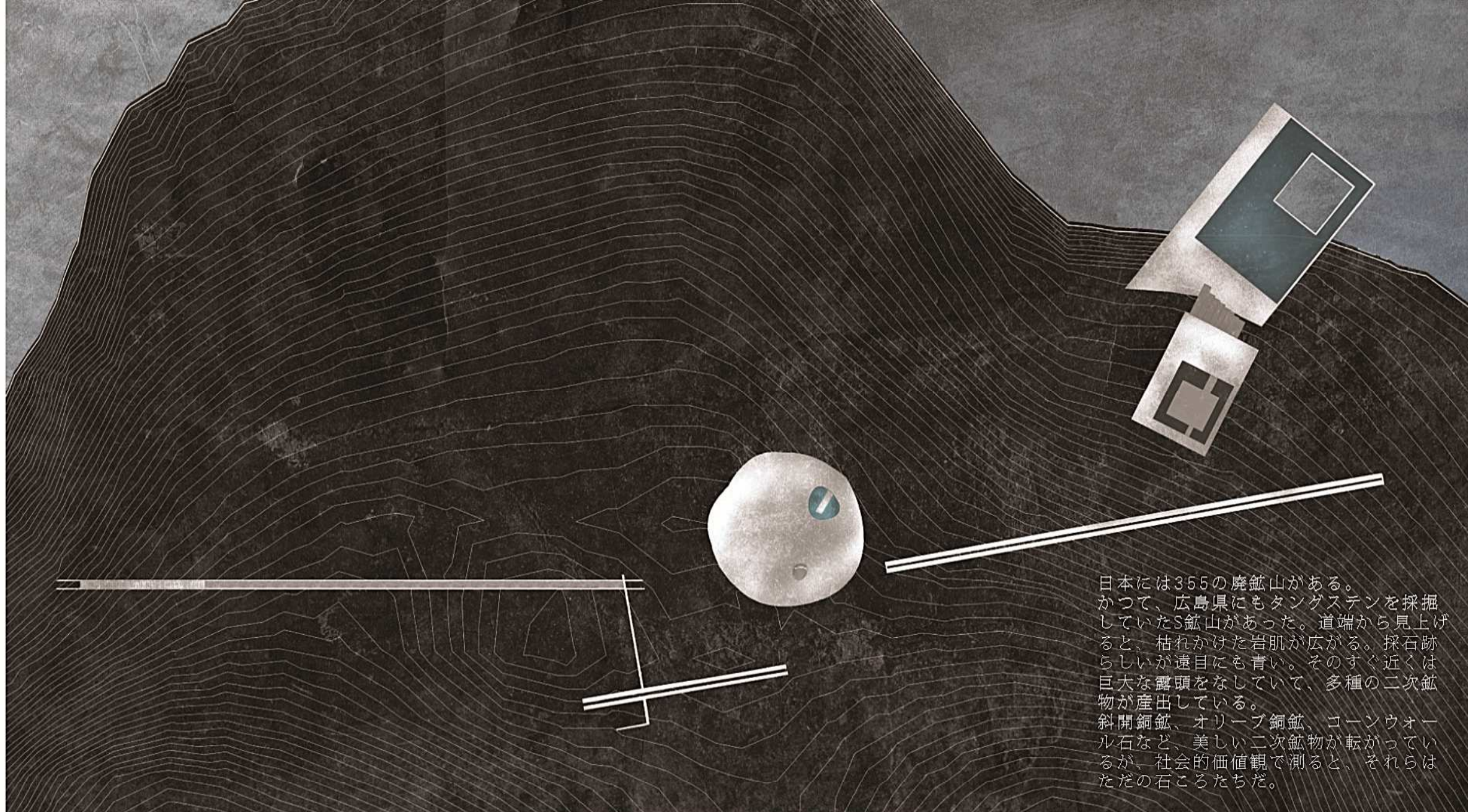
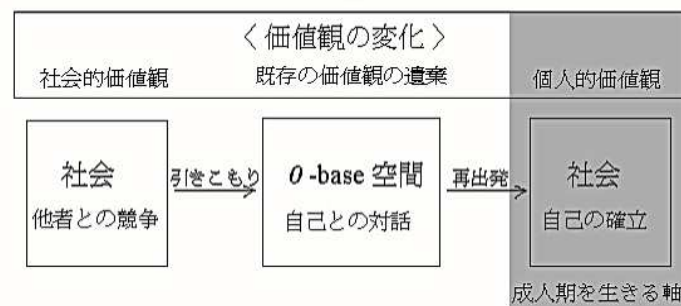
かつては就職・結婚は青年期の終りを告げ、成人期へと移行するための過渡的な通過儀式的意味を持っており、それ以前の期間は成人期を迎えるための猶予期間であった。現代の日本社会においては、就職や結婚に見られるように、青年期が延びているのに、その実質のはずである成人期への猶予期間は空洞化している。

なぜか一 社会は自分自身と向き合うことよりも先に、他者との競争、高学歴・好条件を求めたからだ。その結果として、人々は自己と向きあうための猶予期間を与えられぬまま、社会に投げ込まれることになった。



社会的な猶予期間が消失した今、個々で猶予期間を作り出す必要があり、その一つのかたちとして引きこもり現象があると考えられる。引きこもりは社会的通過儀礼の消滅した時代の、個人的通過儀礼のかたちのひとつなのではないだろうか。

【diagram】



日本には355の廃鉱山がある。かつて、広島県にもタングステンを採掘していたS鉱山があった。道端から見上げると、枯れかけた岩肌が広がる。採石跡らしいが遠目にも青い。そのすぐ近くは巨大な露頭をなしていて、多種の二次鉱物が産出している。斜開銅鉱、オリーブ銅鉱、コーンウォール石など、美しい二次鉱物が転がっているが、社会的価値観で測ると、それらはただの石ころたちだ。



【concept : 再生】

引きこもりに生まれ直しのテーマを与える。既存の固定観念や社会的価値観などの枠組みに縛られることなく、それらをまったく取り払って0の状態です事を捉え、0からの再生とする。

一次鉱物が枯渇し、捨てられた土地には二次鉱石が石ころとして転がる
それらを取り出し、空間を構成するものとして再び命を吹き込む

【再生のプロセス】



【program】

通過儀礼は以下の3局面を持つ。
①ある状態から分離
②過渡期
③別の状態に統合
↓ 図式化
分離→滞在→移行
この図式は引きこもり現象の過程と一致する。図式をもとに空間を作成

【空間構成】

